

平成 22 年 11 月 11 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」の「毎月分配型」
2010年11月10日(第11回)決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「毎月分配型」の各ファンドにおける2010年11月10日(第11回)決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

第11期分配金 (1万口当たり、課税前)

・毎月分配型

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
安定分配額	50 円	85 円	125 円	105 円
追加分配額	50 円	85 円	0 円	105 円
合計額	100 円	170 円	125 円	210 円

*ブラジルリアルコースにおいては基準価額の水準を勘案し、追加分配を見送ることいたしました。

11月決算時における追加分配について

当ファンドは、毎年5月および11月の決算時において、毎月の安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。

なお、追加分配に関しましては、今後の継続的な実施のため、各コースの安定分配額を上限とし、かつ分配後の基準価額が一定の額を下回らない水準以内で行うことといたします

当期につきましては、エマージング債券市場が上昇する動きとなる中、円コースが米ドル建てエマージング債券と同等程度上昇しました。一方で、豪ドル・南アフリカランドは円に対し小幅下落し、ブラジルリアルが大幅下落したことなどを受け、各コースの基準価額水準は下落しました。このため、ブラジルリアルコースにつきましては、基準価額が10,000円を下回る水準となり、追加分配につきましては見送りとさせていただきます。

引き続きご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

分配金額は、委託者が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

2010年5月～10月の運用経過

当期間の米ドル建てエマージング債券市場(JP モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債券」)は大きく上昇しました(米ドルベース、以下同じ)。欧州で債務危機への懸念が高まった5月には、投資家のリスク資産離れからエマージング債券市場も軟調に推移しましたが、その後は、ギリシャなどの一部の先進国よりも新興国全般の方が財政面が健全で、経済成長も力強いとの見方から、堅調さを取り戻しました。夏場以降は米国で景気減速感が強まりましたが、追加金融緩和観測を織り込んで利回りが急低下(=価格が上昇)した米国債に、新興国の米ドル建て債券も連れ高の展開となり、また、投資家の高利回り債券に対する需要が喚起されたことから、米ドル建て債券の米国債に対する平均スプレッド(利回り格差)は縮小基調を維持しました。

ポートフォリオは米ドル建てでプラスの収益率となりました。ベネズエラの米ドル建て国債の保有などがマイナス要因となったものの、トルコやインドネシア、コロンビアの米ドル建て国債や、ブラジルの米ドル建て、現地通貨建て双方の国債などの保有が奏効しました。

当期間の主要な投資行動では、期初に、現地通貨建て債券や相対的にリスクが高いと判断された国の債券の保有を削減しましたが、その後、徐々に再びリスクを高める方向にポートフォリオをシフトしました。国別では、フィリピンの現地通貨建て国債や、クロアチア、アルゼンチンの米ドル建て国債、トルコの米ドル建て、現地通貨建て双方の国債などを購入した一方で、コロンビアやベネズエラの米ドル建て国債、ブラジルの米ドル建て、現地通貨建て双方の国債などの売却を行いました。

期末時点のポートフォリオにおいては、トルコに続き、インドネシアやアルゼンチン、ブラジル、メキシコなどが組入上位国となりました。米ドル以外の通貨では、メキシコ・ペソやトルコ・リラ、ウルグアイ・ペソなどの組入比率が比較的高目となっております。

中長期的なエマージング債券市場の見通しは依然として非常に有望で、「大半の新興国が堅実で調和の取れた財政・金融政策により、高い経済成長を維持する」というエマージング市場の大局的傾向は続いており、成長率が上振れする可能性もあると考えております。

このような見方の下、ポートフォリオでは、米ドル建て債券の保有を減らし、現地通貨建て国債や社債の比率を高めるなど、以前の比較的慎重なスタンスから、徐々にリスクを高める方向にシフトしております。インフレ圧力の高まりに対応するため、トルコの現地通貨建て国債などは主としてインフレ連動型の債券を選好しております。

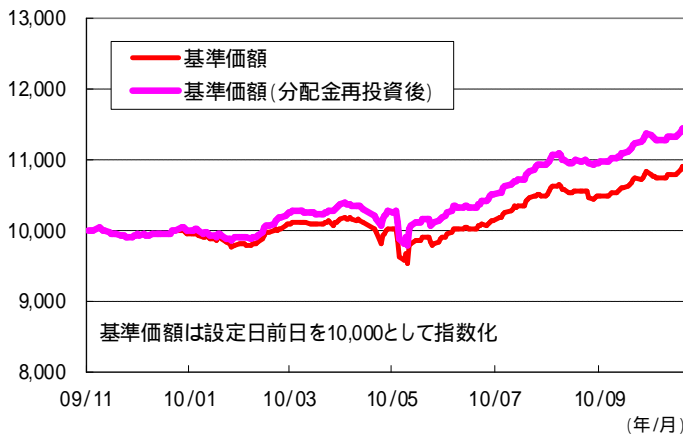
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍円建外国投資信託)は2010年10月末現在でエマージング債券の組入数は140銘柄、債券の組入比率は95.9%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

基準価額の推移 (2009年11月17日(設定日)~2010年11月10日、日次)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。

円コース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

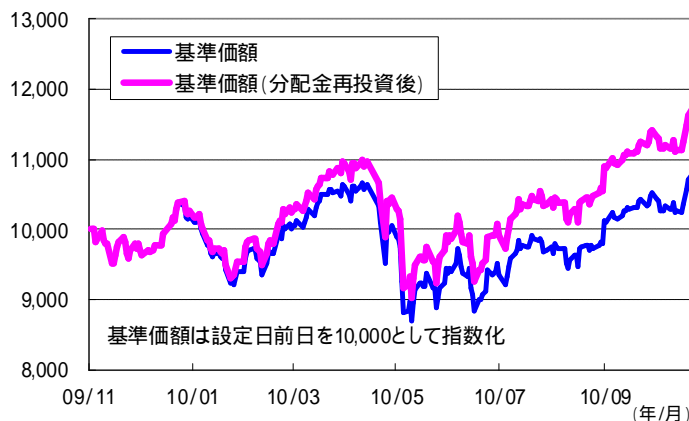
	決算日	分配金
第7期	2010/7/12	50円
第8期	2010/8/10	50円
第9期	2010/9/10	50円
第10期	2010/10/12	50円
第11期	2010/11/10	100円
設定来		600円

1万口当たり、税引前

2010/11/10

基準価額	10,774円
純資産総額	62億円

豪ドルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

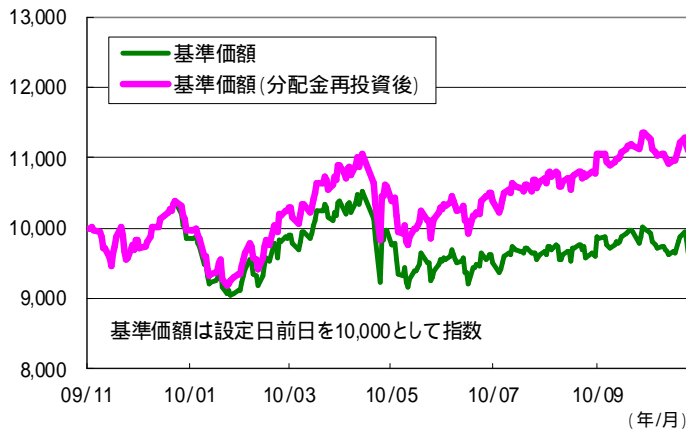
	決算日	分配金
第7期	2010/7/12	85円
第8期	2010/8/10	85円
第9期	2010/9/10	85円
第10期	2010/10/12	85円
第11期	2010/11/10	170円
設定来		975円

1万口当たり、税引前

2010/11/10

基準価額	10,543円
純資産総額	206億円

ブラジルリアルコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

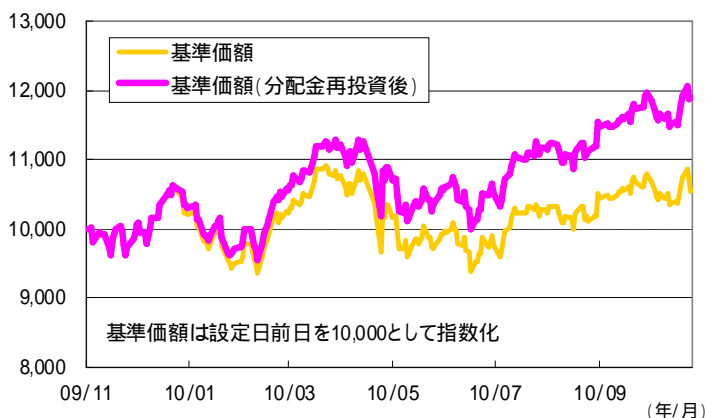
	決算日	分配金
第7期	2010/7/12	125 円
第8期	2010/8/10	125 円
第9期	2010/9/10	125 円
第10期	2010/10/12	125 円
第11期	2010/11/10	125 円
設定来		1,345 円

1万口当たり、税引前

2010/11/10

基準価額	9,658 円
純資産総額	2,634 億円

南アフリカランドコース(毎月分配型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第7期	2010/7/12	105 円
第8期	2010/8/10	105 円
第9期	2010/9/10	105 円
第10期	2010/10/12	105 円
第11期	2010/11/10	210 円
設定来		1,260 円

1万口当たり、税引前

2010/11/10

基準価額	10,525 円
純資産総額	27 億円

分配方針(毎月分配型)

毎月10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。

収益分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益を中心に安定分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。また、毎年5月および11月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。ただし、必ず分配を行うものではありません。

収益分配に充てず投資信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号			

加入協会に 印を記載しています。

本資料はご投資家の皆様にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込に際してのご留意事項

当ファンドの投資リスクについて

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに生じた利益および損失は、全て投資家に帰属し、投資元本が保証されているものではありません。また、収益や投資利回り等も未確定の商品です。投資にあたっては、以下に記載したリスク要因を十分にご理解のうえ、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

<マネープールファンド(年2回決算型)を除く各ファンド>

「金利変動リスク」「信用リスク(クレジットリスク)」「カントリーリスク」「為替変動リスク」

<マネープールファンド(年2回決算型)>

「金利変動リスク」「信用リスク」

当ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

当ファンドに係る費用について

[お客様には以下の費用をご負担いただきます。]

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・お買付価額に対して3.15%(税抜3.00%)

(マネープールファンドのお買付はスイッチングによる場合のみとします。)

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬等：各ファンドにつき、投資信託財産の純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額

マネープールファンドを除く各ファンド・・・年0.924%(税抜0.88%)

実質的にご負担いただく信託報酬率・・・年1.674%程度(税抜1.63%程度)

(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)

マネープールファンド・・・年0.5775%(税抜0.55%)以内

監査報酬：各ファンドにつき、投資信託財産の純資産総額に対して下記の率を乗じて得た額

マネープールファンドを除く各ファンド・・・年0.0084%(税抜0.008%)

マネープールファンド・・・年0.00525%(税抜0.005%)

その他：有価証券の保管費用、売買時の売買委託手数料等がかかります。

その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

スイッチング時にご負担いただく費用

スイッチング手数料・・・お買付価額に対して1.575%(税抜1.50%)

(マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)

ご換金(スイッチングのためのご換金を含む)時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・換金申込日の翌営業日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額

(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)

ご換金手数料・・・ありません。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。